

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 8月10日

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入)
法人名	
事業所名	グループホーム虹の家
所在地	福島県双葉郡浪江町大字立野字根渡183 (電話) 0240-34-0180
評価機関名	NPO福祉ネットワーク
所在地	福島県いわき市錦町竹の花20
訪問調査日	平成20年 8月 8日

【情報提供票より】(19年 8月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 9月 15日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9人
職員数	9人 常勤 7人, 非常勤 2人, 常勤換算 5.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2階建ての 階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	3万6000円/30日	その他の経費(月額)	光水熱費10,500円/30日
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,100	円

(4) 利用者の概要(8月 8日)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1		3名	要介護2		3名
要介護3		3名	要介護4		名
要介護5		名	要支援2		名
年齢	平均 82.9歳	最低	76歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関


協力医療機関名	西病院・山村デンタルクリニック
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

180度広がる田園風景の小高い場所に、和風民家を増改築した建物は懐かしさと心地良さが溶け合い、故郷の我が家を思い起こさせ、ゆとりある生活の中には虹の家の名の由来通り入居者一人ひとりのカラーを尊重しつつ、その人らしさを発揮させ互いに協調関係を築こうとする熟練された支援は、日々の職員研修の成果を物語っているかのようであった。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価を通して、日ごろの支援を見直し、改善策を検討し実践に移している。
	自己評価の必要性を十分に理解し実行している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 会議の中で評価状況を説明し、多方面からの意見を参考にした取り組みを行っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 日ごろより密に連絡を取ることで納得、理解されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域住民の接点を多く図ることで、事業所の孤立化を防止している。

2. 調査報告書

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者一人ひとり個性に合わせた理念の取り組み、支援に当たっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	堅苦しくない自然な掲示は、職員が共有できるスペースに掲げられていた。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣組を通して季節行事に積極的に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員間で改善策を検討し実行している。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所側と委員側からの双方向的会議がもうけられている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
/////////					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年二回の機関紙を送付し、遠方の家族の方にも近況状況を伝達している。また、面会時に金銭報告や通院結果も個別的に応じて報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常にゆとりを持った支援に努め家族の要望を十分に聴きいれているため現在までに苦情等はない。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在までに自己都合による退職者が一名あったが、長期間にかけて休暇日数を増やすなどして利用者へのダメージを防ぐよう努めていた。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は実績に合った研修を受講し、報告することで共有している。会議は夜間に実施しており、パート職員の参加は難しいため、決定した事項を配布することとしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加盟し地区研修や事業者同士の交流研修を行うことで質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>女性の入居者が多いので台所での下ごしらえや手順は入居者から学ぶ姿勢が見られた。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族や利用者から要望を聴き入れ自分らしい生活ができるよう支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日ごろより家族や利用者の意向や要望を聴き、自分らしい生活をモットーに計画し実践に向けている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>より綿密な計画がたてられるよう担当制とし三ヶ月に一度の見直しは勿論のこと援助内容が実践されているか記録している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医療機関を継続して、定期的に通院の支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対する意向をアンケート形式で家族から聞き取り、全職員間で共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員はプライバシー保持に努め、尊重ある介護に努めている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりのペースに合った配慮がなされていた。また、突然の要望にも職員は可能な限り対応していた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホーム周囲の畑で取れた四季折々の野菜を使って利用者と職員が協力し合って、調理、片付けの支援に当たっていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望時間帯に合わせて毎日か一日おきに支援している。現在の所、夕食後の入浴希望者はおらず日中、入浴が楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	敷地内の梅で梅干作りをするなど利用者の経験や知識を活かした場面作りに努めていた。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日散歩に出かけるなど個々に合わせた外出配分がなされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	個々の行動パターンを熟知することで日中鍵やチャイムセンサーに頼らない自由な暮らしを支援していた。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を年三回実施し、そのうちの一回は消防署員立会いで行っている。また、夜勤者一名を想定した避難誘導訓練を行い知識向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嗜好品を取り入れ食欲低下や水分不足を補うとともに毎月の体重測定で摂取状況の把握をしている。		
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や鉢物、行事の装飾品が馴染んだ共同空間をかもし出していた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には馴染みの品々が整理整頓され居心地良さの中にその人らしさの空間が感じられた。		